

とくしゅくかつお

徳宿克夫さん プロフィール

【町との関連】

城里町(旧桂村)阿波山出身

【ご職業等】

高エネルギー加速器研究機構
素粒子原子核研究所 所長

【ご経歴等】

2005年高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所の教授に就任。2008年CERN(欧州原子核研究機構)のATLAS実験の日本グループの共同代表に就任。2015年素粒子原子核研究所の所長に就任。



10月4日、しろさと大使の徳宿克夫さんを常北中学校にお招きして、2年生を対象に『加速器で宇宙を探る』と題した講演会を開催しました。

徳宿さんは、高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所の所長を務め、スイスにある全周27キロメートルの円形加速器を用いて、宇宙がどのように誕生したのかを研究されています。



講演は、徳宿さんの研究テーマである『宇宙がどのように作られているのか』についての説明から始まり、加速器の仕組みについてなどを写真やイラストを使って説明されました。

中学生時代は剣道部に所属し、「剣道以外にも、音楽や読書、電気工作などさまざまなことに興味を持っていた」と当時の思い出が語られました。また、「成り行きで研究者になったというのが本音だが、何かを研究

したいという気持ちはずっとあった」と研究者になったきっかけについてお話しされました。

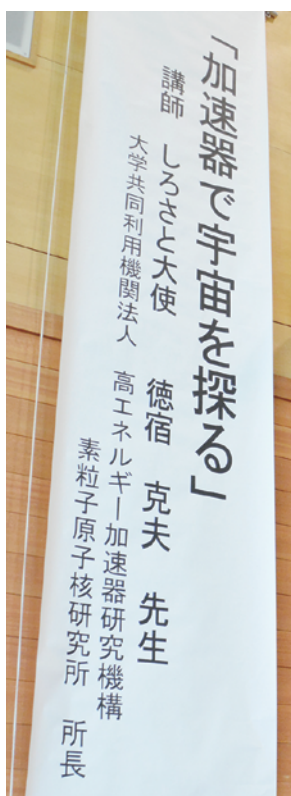
また、中学生に対して「自分の好きなことや興味があることややることもに、幅広い知識を求めることが大事」とアドバイスしました。

中学生からの、効率的な勉強法を教えてほしいという質問には、「教科書だけではなく、小説や漫画など、いろいろな本を読むことで自分の世界を広げることが大事」と答え、「本を読むことで、客観的に自分が見れるようになった」と自身の経験談をお話しされました。

講演を聴いた鯉淵駿之介君は、「内容は難しかったけど、徳宿さんのお話を聴いて、理科についてより興味を持つことができた。これからの勉強に活かしていきたい」と話していました。

しろさと大使 徳宿克夫さんが 常北中学校にて講演会を開催しました！

とくしゅくかつお



高エネルギー加速器研究機構 ってどんなところ？

フォトンファクトリー

フォトンとは光の粒子を意味します。フォトンファクトリーでは、加速器から発生する明るく波長の短い光「放射光」を用いて、物質や生命を原子サイズで観察することができ、物質の持つ多種多様な性質を解き明かすことができます。

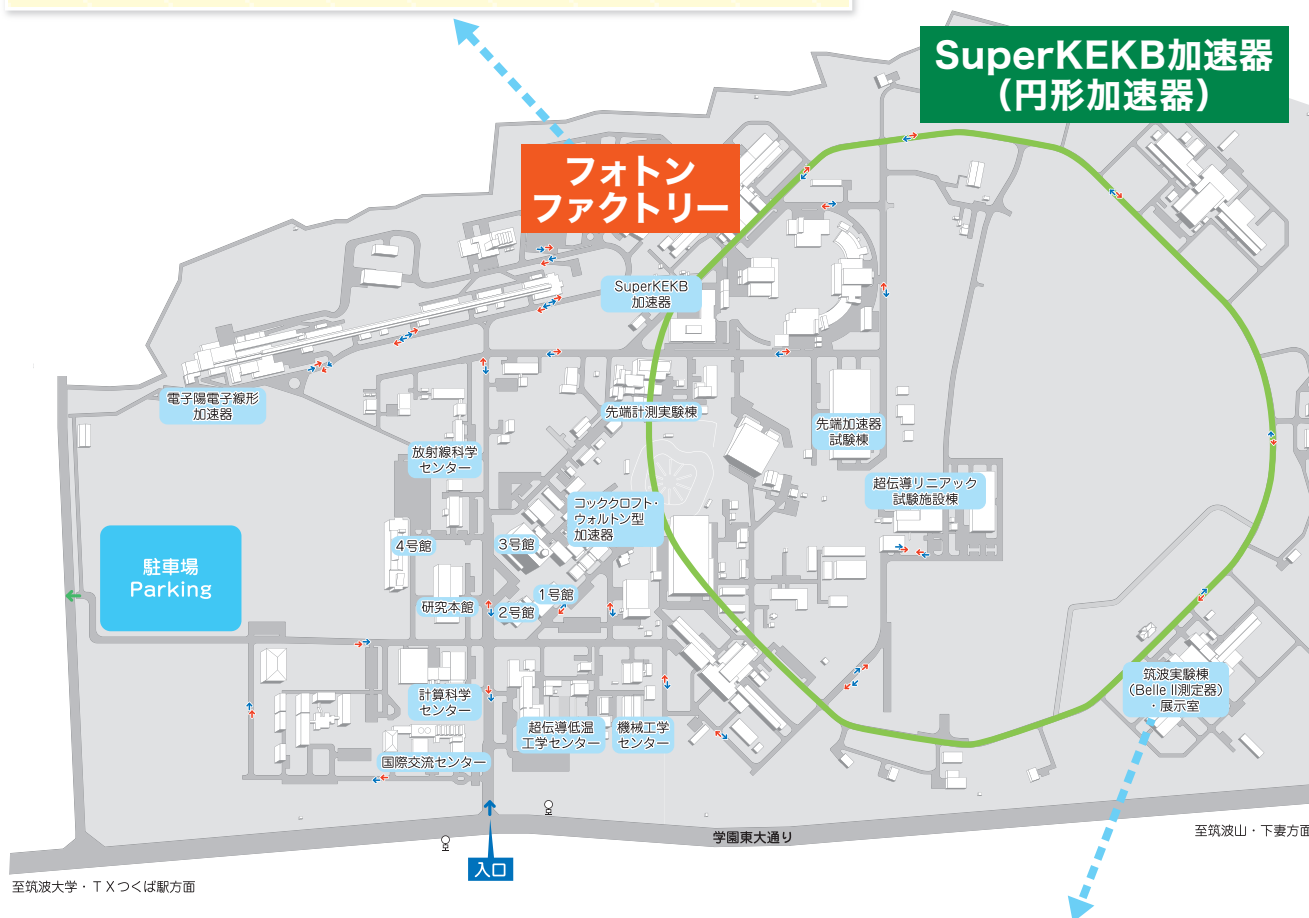


▲フォトンファクトリー内の測定器

茨城県つくば市にある高エネルギー加速器研究機構（KEK）とは、加速器科学を用いた研究を推進し、大学共同利用法人として国内外の研究者に研究の場の提供を目的に設立されました。

KEKが所有する研究設備について紹介します。

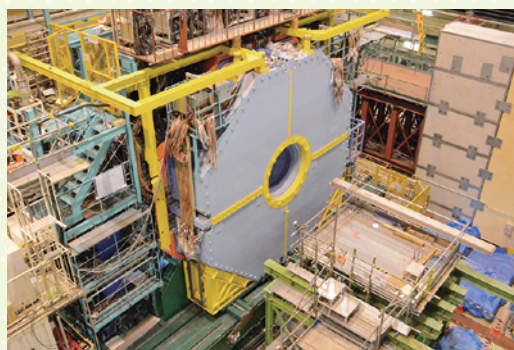
SuperKEKB加速器 (円形加速器)



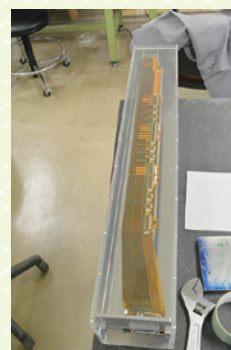
SuperKEKB加速器

現在建設中のSuperKEKB加速器は、周長3キロメートルの2つの円形加速器です。ほぼ光の速さまで加速した電子と陽電子を正面衝突させ、発生する物質をBelleII測定器によって測定します。

徳宿さんは、この加速器に似たスイスにある加速器を用いて、物質を形作る極小単位の世界の謎を解明するとともに、現在の宇宙がどのように誕生したのかという根源的な研究を行っています。



▲建設中のBelle II 測定器



▲測定チップ